グループウェアシステム機能要件一覧

|  |  |
| --- | --- |
| ◎ | 標準機能で対応 |
| 〇 | 代替案で対応 |
| △ | カスタマイズで対応 |
| × | 対応不可 |

|  |  | 仕様項目 | 可否 | 備考（代替案、見積額等） | 項番 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1　基本機能 |  |
|  | Microsoft Edge（IEモードを除く）、Google Chromeなど主要なブラウザで動作可能であること。 |  |  | 1 |
|  | 端末には個別設定情報を持たないこと。 |  |  | 2 |
|  | 全職員が容易に利用できる操作性であること。 |  |  | 3 |
|  | システムは日本語で提供されていること。 |  |  | 4 |
|  | 将来のユーザ数及びデータ量増加に、大規模なシステム改修を行わずにハードウェアの増強で対応できること。 |  |  | 5 |
| 2　運用管理 |  |
|  | （1）全般 |  |
|  |  | パスワードの文字種、長さの設定ができること。 |  |  | 1 |
|  |  | 日付入力は、カレンダーから入力できること。 |  |  | 2 |
|  |  | 利用者の選択は、メンバ/組織/役職/組織+役職の選択が可能であること。 |  |  | 3 |
|  |  | 機能単位に添付するファイルサイズの制限を管理者が設定できること。 |  |  | 4 |
|  | （2）ユーザ管理 |  |
|  |  | ユーザ情報については、最低限、次の項目を有すること。また、所属については3個以上兼務できること。・氏名・かな氏名・ID・所属・役職・メールアドレス |  |  | 5 |
|  |  | CSVファイル一括出力、一括更新できること。 |  |  | 6 |
|  |  | ユーザ単位で追加、変更、停止、削除できること。 |  |  | 7 |
|  |  | システムを利用可能なユーザ数を運用開始後も変更できること。（ライセンス不足の場合、追加購入を前提。） |  |  | 8 |
|  |  | 人事異動の際に個人の環境設定（表示方法等）がそのまま引き継げること。 |  |  | 9 |
|  | （3）組織管理 |  |
|  |  | 組織については日本語の組織名の管理ができること。 |  |  | 10 |
|  |  | 組織は3階層以上の階層管理ができること。また同一階層上の組織の並び順は自由に変更できること。 |  |  | 11 |
|  |  | 人事異動の際、事前に異動情報のデータを登録し、組織変更時は反映のみ行うことで、人事異動処理直前に職員負荷がかからない仕組みがあること。 |  |  | 12 |
|  |  | 管理者機能によりCSVファイルによるメールアカウント一括変更できること。 |  |  | 13 |
| 3　初期設定 |  |
|  |  | 管理者が、メール・掲示板・スケジュール・施設予約の各機能単位で一括削除できること。（日付を指定し、それ以前のデータの一括削除と、期間を指定し、一括削除できること。） |  |  | 1 |
|  |  | 管理者が、利用者の個人設定の内容を統一、変更できること。 |  |  | 2 |
|  |  | 管理者が、利用機能（メニュー）の権限を作成・修正できること。 |  |  | 3 |
|  |  | 管理者が、独自の休日を登録できること。 |  |  | 4 |
| 4　基本画面（メインメニュー） |  |
|  |  | ログイン後、各種更新通知（掲示板、メール等）等のコンテンツを集約したメインメニュー画面を表示できること。 |  |  | 1 |
|  |  | メインメニュー画面では以下を表示できること。・グループウェア各機能へのリンク・管理者からのメッセージ・各種更新通知（掲示板、メール等） |  |  | 2 |
|  |  | 各機能はワンクリックで起動できること。 |  |  | 3 |
|  |  | 未読メール・未読の回覧などの通数が一箇所に表示できること。 |  |  | 4 |
|  |  | 画面のメニュー配置をユーザごとに変更できること。 |  |  | 5 |
|  |  | 利用可能なメニューの権限設定できること。 |  |  | 6 |
|  |  | 基本画面または基本画面表示前に強制的にメッセージが表示できること。 |  |  | 7 |
| 5　共通機能  |  |
|  |  | ドラッグ&ドロップ操作によりファイルを複数添付できること。 |  |  | 1 |
|  |  | 各機能へのコピー機能を持っていること。（メールからスケジュール等） |  |  | 2 |
|  |  | 複数の添付ファイルの一括ダウンロードができること。 |  |  | 3 |
| 6　メール |  |
|  |  | 庁内外メールのメールクライアント機能（メール受信・送信・閲覧）を有すること。 |  |  | 1 |
|  |  | 複数の宛先に同報発信が可能であること。また、To、CC、BCCが選択できること。 |  |  | 2 |
|  |  | メール宛先欄へ名前を直接入力することで直接アドレス帳から検索ができること。 |  |  | 3 |
|  |  | メールの返信、転送機能を有すること。このとき、メール本文や添付文書の引用が可能であること。 |  |  | 4 |
|  |  | HTMLメール形式でも送信が行えること。 |  |  | 5 |
|  |  | 利用者にて、任意のメールアドレスをまとめたグループが作成可能なこと。 |  |  | 6 |
|  |  | メール送信ボタンを押した後、本当に送信しても良いかどうか一度確認が可能であること。 |  |  | 7 |
|  |  | メールボックスの任意追加、階層管理が可能であること。また、タイトルや差出人をキーワードにして受信メールを任意のメールボックスに自動振り分けができること。 |  |  | 8 |
|  |  | メールを振り分け設定した際に、以前から受信済みのメールも含め振り分けを再度行う事ができること。 |  |  | 9 |
|  |  | メールの件名に入力可能文字数が50文字以上であること。 |  |  | 10 |
|  |  | 各ユーザは自分自身の利用しているメールボックスの利用状況が確認できること。 |  |  | 11 |
|  |  | 印刷用画面があること。 |  |  | 12 |
|  |  | SSL接続（POP3S)ができること。 |  |  | 13 |
|  |  | メール送信時ポート指定ができること。（Outbound Port25 Blocking対策対応） |  |  | 14 |
|  |  | メールの本文から、スケジュール・掲示板へコピーができること。 |  |  | 15 |
|  |  | メールの本文から、アドレス帳に受信アドレスを登録できること。 |  |  | 16 |
|  |  | メールを書くときに、雛形の挿入ができること。 |  |  | 17 |
|  |  | 差出人、あて先、件名、送受信日時等でメール検索できること。 |  |  | 18 |
|  |  | メールのローカルフォルダへの保存が容易に行えること。 |  |  | 19 |
|  |  | メールの一括保存ができること。 |  |  | 20 |
|  |  | 受信認証方式はAPOP及び,POPが使用できること。 |  |  | 21 |
|  |  | メール受信ポートの指定できること。 |  |  | 22 |
|  |  | 複数のメールを同時に移動・削除できること |  |  | 23 |
|  |  | メールの一覧アイコンで開封済み、未開封、返信済み、転送済みの操作状況がわかること。 |  |  | 24 |
|  |  | メール作成時、一時保存（下書き）できること。 |  |  | 25 |
|  |  | メール一覧画面にてメールの容量が表示できること。 |  |  | 26 |
|  |  | メールボックスの使用率が表示できること。 |  |  | 27 |
|  |  | 受信後、指定した日（○○日後）にサーバから削除できること。 |  |  | 28 |
|  |  | 管理者側が受信容量の設定を個人単位でできること。 |  |  | 29 |
|  |  | ユーザを切り替えることなくメールアカウントの切り替えができること。 |  |  | 30 |
|  |  | ファイルの添付ができること。 |  |  | 31 |
|  |  | 署名が登録でき、送信時にメール本文に付与できること。 |  |  | 32 |
|  |  | 削除したメールをもとに戻せるゴミ箱機能を有すること。 |  |  | 33 |
|  |  | ユーザがフォルダ又はタグを作成し、メールの区分を管理できること。 |  |  | 34 |
| 7　共有メール |  |
|  |  | １つの共有用メールアドレスを複数ユーザで共有し、メール送受信・送信等のログの閲覧ができること。 |  |  | 1 |
|  |  | 基本的にメールと同様の処理できること。 |  |  | 2 |
|  |  | 自分のユーザのまま、共有メールの閲覧・送信ができること。 |  |  | 3 |
|  |  | 共有設定を組織で指定した場合、異動で組織が変わると、旧組織のメールが閲覧等不可になり、新組織のメールが閲覧等可能になること。 |  |  | 4 |
|  |  | 各アドレスのメールは混ざることなく管理できること。 |  |  | 5 |
|  |  | 共有メールアドレス毎に権限設定できること。 |  |  | 6 |
| 8　共有ファイル |  |
|  |  | ユーザ全体や部署等で共有する文書等のファイルをアップロード、ダウンロードできること。 |  |  | 1 |
|  |  | 任意のフォルダが設定でき、分類・階層化して管理できること。また、フォルダ作成数の制限がないこと。 |  |  | 2 |
|  |  | WindowsアプリケーションのExcel、Word、PowerPointで作成したファイル、PDF、テキストファイル、圧縮ファイル（zip）など各種ファイルを登録できること。 |  |  | 3 |
|  |  | フォルダ毎に、更新・参照等の権限設定が可能なこと。また、アクセス権がないフォルダは、非表示できること。 |  |  | 4 |
|  |  | 登録ファイルに対して版数管理できること。 |  |  | 5 |
|  |  | ファイル名等を条件に、キーワード検索できること。 |  |  | 6 |
| 9　電子掲示板 |  |
|  |  | ユーザ向けの連絡事項等を伝達する掲示板機能を有すること。 |  |  | 1 |
|  |  | 掲示板には以下の情報を登録、表示できること。・作成者・掲示開始日、終了日および、開始時間、終了時間（時間・分）・タイトル・本文・添付ファイル |  |  | 2 |
|  |  | Windowsアプリケーションの各種ファイルを掲示可能なこと。 |  |  | 3 |
|  |  | 重要な文書は文書一覧画面で容易に区別でき、利用者に重要文書である事を周知徹底できること。 |  |  | 4 |
|  |  | 掲示された際に表示される作成者は、登録したユーザ名ではなく、部署名での登録もできること。 |  |  | 5 |
|  |  | 掲示されている文書が一覧で表示できること。 |  |  | 6 |
|  |  | 未読の掲示板情報がメインメニューに表示できること。 |  |  | 7 |
|  |  | 一度既読になった掲示板も未読に変更できること。 |  |  | 8 |
|  |  | 掲示板の作成時に雛形の挿入ができること。 |  |  | 9 |
|  |  | 掲示板は検索機能があり、分類・タイトル・本文・作成者で検索ができること。 |  |  | 10 |
|  |  | テキスト入力、HTML入力の切り替えが可能であること。 |  |  | 11 |
|  |  | 掲示開始日以前に掲載が可能なこと。（予約登録） |  |  | 12 |
|  |  | フォルダによる記事の分類、階層表示できること。 |  |  | 13 |
|  |  | 各フォルダ、掲示記事毎に、参照権限・編集権限の設定を、ユーザ、組織、任意のグループ単位で設定できること。（掲示記事毎は必須ではない。） |  |  | 14 |
|  |  | 管理者は全ての記事を編集・削除できること。 |  |  | 15 |
|  |  | 作成途中の記事を下書きとして保存できること。 |  |  | 16 |
|  |  | 掲示後画面のプレビューが投稿前に確認できること。 |  |  | 17 |
|  |  | 未読の記事が一目でわかりやすく表示されること。 |  |  | 18 |
| 10　スケジュール管理 |  |
|  |  | 各ユーザのスケジュールを管理できること。 |  |  | 1 |
|  |  | 各スケジュールは以下の情報を登録できること。・登録者・開始、終了日時・タイトル・内容・参加者・公開範囲 |  |  | 2 |
|  |  | グループスケジュールの管理ができること。 |  |  | 3 |
|  |  | 個人スケジュールは、日間、週間、月間の各表示が簡易な操作で表示できること。 |  |  | 4 |
|  |  | 複数のユーザを参照したい場合には、あらかじめグループとして任意に登録できること。 |  |  | 5 |
|  |  | 定期スケジュールの一括登録・削除が可能なこと。 |  |  | 6 |
|  |  | 定期スケジュールの登録後、一部の予定のみ修正又は削除できること。 |  |  | 7 |
|  |  | 複数ユーザに対するスケジュール調整機能を有すること。また、会議室等の施設予約と連動できること。 |  |  | 8 |
|  |  | 同一の時間帯に複数の予定を設定できること。 |  |  | 9 |
|  |  | スケジュール毎に公開範囲が設定できること。 |  |  | 10 |
|  |  | 1日のスケジュールをグラフで表示できること。 |  |  | 11 |
|  |  | 個人スケジュールとは別に、全体のスケジュールが別メニューであること。 |  |  | 12 |
|  |  | スケジュールの印刷用画面があること。 |  |  | 13 |
|  |  | スケジュールの仮登録ができること。 |  |  | 14 |
|  |  | スケジュール登録時、施設予約を行っても「非公開」の設定ができること。 |  |  | 15 |
|  |  | 予約メンバと予約施設の選択パターンを登録・編集・呼び出しできること。 |  |  | 16 |
|  |  | スケジュール予約時に、現在のスケジュール・施設予約との重複チェックできること。 |  |  | 17 |
|  |  | スケジュールの空き検索ができること。 |  |  | 18 |
|  |  | スケジュール週間表示画面に、グラフスケジュール表示へのリンクできること。 |  |  | 19 |
|  |  | スケジュール分類による色分け（色は管理者で設定）できること。 |  |  | 20 |
|  |  | デフォルト表示パターン(グループ・週/日、個人・月/週/日、グラフ系 )を設定できること。 |  |  | 21 |
|  |  | スケジュール新規作成時、時間入力をドラッグで選択できること。 |  |  | 22 |
|  |  | ドラッグ＆ドロップによるスケジュールが変更できること。 |  |  | 23 |
|  |  | CSVファイルによる一括インポート、エクスポートできること。 |  |  | 24 |
| 11　施設予約 |  |
|  |  | 会議室、車両、備品等（以下「施設」）の予約管理ができること。 |  |  | 1 |
|  |  | 予約状況が視覚的にわかりやすく表示でき、日、週、月単位で切り替え表示できること。 |  |  | 2 |
|  |  | 施設を階層化して登録でき、階層毎にアクセス権を設定できること。 |  |  | 3 |
|  |  | 複数の施設を一括予約できること。 |  |  | 4 |
|  |  | 施設予約をすれば関係するメンバのスケジュールにも登録できること。 |  |  | 5 |
|  |  | 定期予約の一括登録・削除が可能なこと。 |  |  | 6 |
|  |  | 定期予約の登録後、一部の予定のみ修正又は削除できること。 |  |  | 7 |
|  |  | 施設予約で入力できる項目は、スケジュールの入力項目と同じ内容であること。 |  |  | 8 |
|  |  | ドラッグ＆ドロップによる施設の予約変更ができること。 |  |  | 9 |
| 12　アドレス帳 |  |
|  |  | 利用者（グループウェア登録者）アドレス帳と個人（グループウェア登録外の関係者等）アドレス帳を利用できること。 |  |  | 1 |
|  |  | 個人アドレス帳で公開できるメンバを指定できること。 |  |  | 2 |
|  |  | CSVファイルによる一括インポート、エクスポートが可能なこと。 |  |  | 3 |
|  |  | 氏名、氏名読み、メールアドレス、役職、組織を条件として検索できること。（役職条件は必須ではない。） |  |  | 4 |
| 　セキュリティ対策 |  |
|  |  | ユーザ認証により不正アクセスを防止できるシステムであること。 |  |  | 1 |
|  |  | パスワードの入力を一定回数以上間違えるとログインロックする機能を有すること。 |  |  | 2 |
|  |  | クッキー等のブラウザに保存される個人毎の情報を削除する機能を有すること。 |  |  | 3 |
|  |  | ユーザ、組織、各種権限等の管理情報はシステム管理者のみ作成、変更、削除等できること。 |  |  | 4 |
|  |  | ユーザ毎に利用可能な機能の制限設定ができること。 |  |  | 5 |
|  |  | 外部とのメールがやり取りできない、またはメールアカウントを持たないユーザが作成できること。 |  |  | 6 |
|  |  | パスワードにはポリシー（文字数等）を設定でき、満たさないものは認めないようにできること。 |  |  | 7 |
|  |  | パスワードの有効期限を設定できること。 |  |  | 8 |
|  |  | 初回ログイン時に初期パスワードから変更を求める機能を有すること。 |  |  | 9 |